

高木 まり

(2014年 春号)

事務所連絡先: 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-16-18
TEL:048-654-2559 FAX:048-652-6445 E-mail:takagi@marit.jp

ご意見お待ちしています!

埼玉県議会議員
高木 まり

さいたま市議(2期)を経て、2011年4月より県議。福祉保健医療委員会、公社事業対策特別委員会所属。会派では政調会長。



2月
定例会

県立小児医療センター新病院の建設、あわやストップに

4/16の臨時議会で建設にようやくゴーサイン

さいたま新都心に新病院の建設を進めている県立小児医療センターについて、2月定例会では、新病院建設に必要な増額補正予算を認めないとする自民会派の修正案が可決され、あわや建設ストップかという事態になりました。



▲予算特別委員会で新病院建設を止めるべきではないと討論

新病院の建設は、現病院の耐震不足の解決に加え、さいたま赤十字病院と隣接建設とすることで、周産期医療の充実をはかる目的で進められています。救える命をふやすために、大変重要な事業です。しかし、今回自民会派は、①同病院の入札に疑義あり②議会への説明不足があったとして、必要になった増額分の予算を認めないとなりました。高木は、この問題の扱われた福祉保健医療委員会と予算特別委員会の両方に所属し、徹底的な質疑を行いました。事業を止めるような問題は認められませんでした。

最終的には、4/16に臨時議会が開かれ、必要な増額補正が当初案の通り可決、成立しました。自民会派も、問題がなかったことを認めたことになり。命に関わる政策を政争の具としたことに怒りを感じます。



▲28年中の完成が待たれる新小児医療センター

新小児医療センターは、予定通り28年度中の完成を目指して工事を継続することになりました。

新年度予算、スタート 県内企業の技術を世界に ~国を待たずに県が直接支援~

●久しぶりの積極予算

平成26年度予算は、景気の好調を背景に、久しぶりの積極予算となりました。

一般会計	1兆7,298億8,600万円	前年度比 +3.2%
全会計合計	2兆5,566億9,126万7千円	前年度比 +4.1%

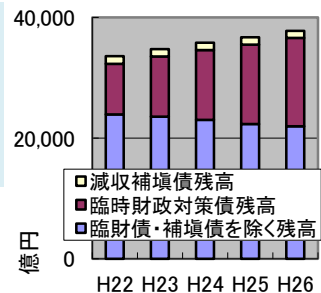
●県内企業の支援が目玉

これまで先端産業の支援は、国主導で行われてきましたが、技術の目利きに国機関の協力を得つつ、県が直接支援する予算が組まれました。国の動きを待たずに、県内企業の技術を伸ばしていくことが期待されます。

注目の県内企業の支援メニュー

- ・先端産業創造プロジェクトの推進 9億4,500万円
- ・米国医療機器市場への参入支援 1,800万円
- ・アセアンマーケットへの参入支援 6,000万円
- ・化粧品品のイスラム市場への参入支援 1,100万円

県債残高の推移



▲県独自の借金■は減少傾向だが、国にさせられている借金■の増加が止まらない。

●医師不足対策も、できることすべてに取り組んでいく

医学部設置を視野に入れた総合病院の誘致、埼玉県総合医局機構の推進、医学生・研修医に対する奨学金・研修資金の貸与など、できるメニューすべてに取り組んでいきます。

●安心をつくるために

大人の救急電話相談の開設、若者の新規雇用拡大、介護人材の確保定着推進など。

●大雪被害に、すばやく補正予算 ● 2月の大雪で県内農業施設等に大きな被害があり、早急に104億円の補正予算が組まれました。

6月定例会は
6/23(月)~7/11(金)
の予定です。

● 予算特別委員会 高木まり質問に立つ ●

知事と一問一答

1・大宮公園をもっと魅力的な公園に

Q【高木】：大宮公園はもっとにぎわいのある魅力的な公園になれる。上野公園や井の頭公園も、カフェがあったり、アーティストや市民の活動で新たなにぎわいの創出に成功している。26年度予算は修繕に留まっているが、しっかり必要な予算をかけて、もっと多くの人を訪れる魅力的な公園とすべきでは？

A【知事】：その通り。民間の力を活用するなど、方法を工夫しながら、魅力的な公園となるよう取り組んでいく。



▲水質改善のためにかいぼりをし、ガマが群生したポット池



▲シャッターの閉まった売店。カフェでもあればとの声も。

Q【高木】：本県のH26年度公園整備関連予算は、全体で約70億円。そのうち、既存公園の維持管理・更新の費用が約60億。新しい公園の整備に約10億となっている。県営公園は、大宮公園のように、一度作ると更新に手をかけられなくなる傾向がある。これからは、新規を抑制しても、作った公園に必要な手を入れて、ずっと愛される公園としていくべきでは？

A【知事】：今後見直していきたい。

2・中高生をスマホ依存から守れ

Q【高木】：今、中高生にも急速にスマホ利用が進んでいるが、同時に、子どもの体にも心にも深刻な影響を及ぼすスマホ依存も広がっており、全国で50万人という調査もある。本県でも学校で実態調査を早急に行い、適切な相談や治療につなげていく必要があると考えるが、見解は？

A【教育長】：まず実態調査に取り組み、相談などにあたってほしい。

※その他、精神科の受診にあたり、医師の不適切な処方方向精神薬依存や睡眠薬依存が起きている実態から県民をどう守るかなどのテーマについて、質問を行いました。

県有施設のマネジメント計画、策定へ

～築30年を超える施設の計画は、26年度中に～

動き出しました！

埼玉県の所有する建築物は約9000棟。高木は、「これからの人口減少・少子高齢化を見据えて、長期的な維持管理計画を策定すべき」とかねてから主張してきました。これまで県は、全施設の修繕履歴の把握を3年かけて行ってきましたが、今回のH26年度予算で、築30年を超える施設についてマネジメント計画を取りまとめることになりました。大きく前進します。計画の中身に注目です。

高木まり

★★活動記録★★

福祉保健医療委員会視察・静岡がんセンター(2/4)



さいたまサイクルフェスタに(2/16)



小児医療センター新病院合同起工式出席(2/16)



大雪被害の現場へ(2/20)



新衛生研究所 開所式に出席(3/23)



高木まり県政報告会

プロジェクトミーティングのお知らせ

「県では何をやっているの?」「ニュースを見ていて意見がある!」「自分の住んでいるまちはどうなるの?」…こんなことを考えている皆さん、ぜひお気軽にお出かけください。予約や入場料はいりません。

- とき：5月18日(日) 14:00~16:00
- テーマ：埼玉県の強みを生かす
- ところ：プラザノース第3セミナールーム

さいたま市北区宮原町1丁目 852 番地 1 TEL:048-653-9255
 *駐車場あり *電車:ニューシャトル「加茂宮駅」徒歩5分 *バス:宮原駅東口から大宮駅東口行きで10分 大宮駅東口から、上尾駅東口行き、又は吉野町車庫行きで15分、「北区役所前」下車・コミュニティバス北区役所線「北区役所」下車。

春ですね。今年は月に埼玉県が大書に見舞われ、気候変動を心配する展開になっています。が、ようやく花々が咲き乱れる春を迎えています。皆さまいかがお過ごしですか。

今回の議会報告は、とても波乱多岐の内容になってしまいました。記事に書いた通り、小児医療センター新病院の建設をめくり、私の所属委員会と連日の審査が行われ、病院建設にストップがかかったまま、議会が閉会してしまっている展開になりました。

この10月の県議会の騒動は、議員の権力闘争の「おぼろげ」が、県民を巻き込んでいくと、感じられるのではないかと、怒り心頭です。

「このお知らせが届く頃、我が家の双子は新一年。きれいな花を見てくれた我がマンション前の桜も若い緑の葉を広げています。(高木)



編集後記